

(別添 3)

【蓮田市】
校務DX計画

1. これまでの取組

蓮田市では、GIGAスクール構想の実現に向け、令和2年度から市内公立小中学校の児童・生徒を対象に学習用タブレット端末を配布し、令和4年度には中学校の校務用PC更新等に取り組んできました。現在、市教育委員会と学校間でのオンライン会議の積極的活用による移動コスト等の削減や、Teamsなどのビジネスチャットツールを活用した業務コミュニケーションの効率化など、これまで校務におけるDX化を積極的に推進してきました。

2. 今後の課題等

蓮田市ではこれまで、令和4年度のネットワーク回線速度調査、令和5年度のネットワーク増設工事施工により、デジタル環境整備に向けた取り組みが行われてきましたが、校務DX化には、現状として様々な課題点があり、今後の校務DXの推進に取り組む上でも、以下の課題点を分析し、適切な解決策を実施していくことが必要であると考えております。

3. デジタルツールの積極的活用

蓮田市では、校務上の不合理な手入力作業を減らしていくため、市教育委員会から各小中学校への調査・照会業務の簡素化に向けて、不必要な調査の廃止や統合化をはじめ、デジタルツールや各種システム導入に向けた積極的な検証・研究をおこなっていき、校務における従来の業務プロセスの改善点の正確な把握及び解決に向けて前向きに取り組んでまいります。

4. FAX や押印の見直し

蓮田市では、現在FAXを使用しております。用途としては、緊急連絡事項等や事業者との連絡手段として使用しており、主な連絡手段としては、電話や電子メール、ビジネスチャット等による連絡手段を優先的に使用しております。今後、連絡調整における補完手段としてのFAXの役割について、庁内のDX推進に併せて、見直し検討を行ってまいります。また、押印の見直しについても、現状、不必要な押印作業が生じていないか、国や県・近隣自治体等の廃止事例等も参考にした上で、積極的な見直し検討に取り組んでまいります。

5. ペーパーレス化の推進

蓮田市では、会議資料の電子化（データによる事前送付）や通知文書等の電子配布など校務におけるペーパーレス化を行っております。今後も不要な紙媒体資料の積極的削減に努めてまいります。